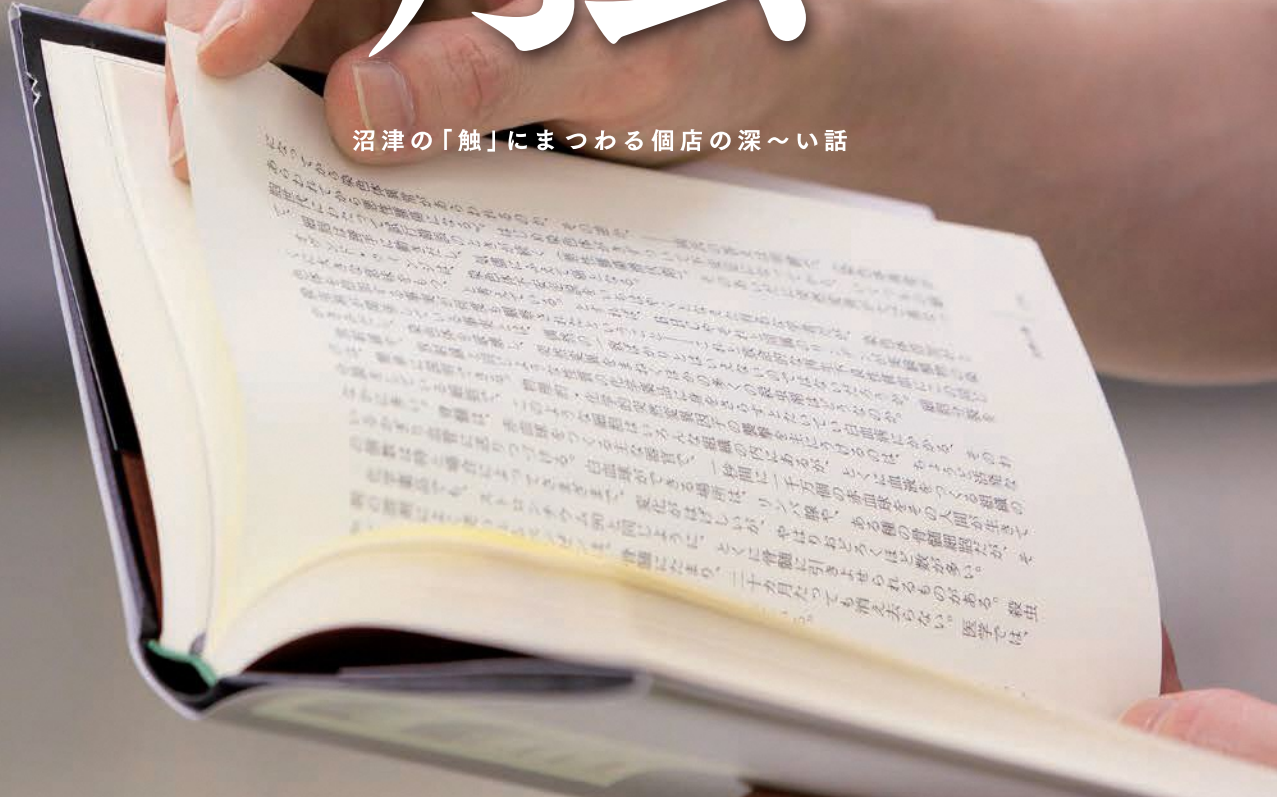


NUMAZU
まちの
感 触

vol.4

触

沼津の「触」にまつわる個店の深〜い話



NUMAZU
まちの
感 触

＼ SNSでも情報発信しています /



#沼津まち感

五感で感じる

まちなか商業

沼津の駅前、いつもの日常、いつものまちなみ。ふと触れた店先の商品の手触りが心地よく、なんとなく『触』が気になりはじめると、あのお店も、この通りにも、個性あふれる『触』があるではないですか！さらに、五感をフル回転してみると、日常に溶け込んでいたまちの色、音、匂い、その感触は、今まで見えていなかったまちの奥深い魅力に気付くきっかけとなりました。今回はそんな『触』をテーマに、沼津のまちなかの特徴ある個店取材。『触』に秘められたひとつひとつのお話には、深い深い魅力が詰まっていました。さあ、いつものまちとお店を、ちょっと違った視点で楽しんでみよう！



CONTENTS

- 02 沼津市中心市街地MAP
- 03 特集
触り心地のよい個店でまちの深みを感じる
～日々の手触り～
- 05 マルサン書店 仲見世店
- 07 SECESSION / 正秀刃物店
- 09 肌が触れ合う心地よさ
COLORIDO / Relaxation salon citta
- 11 カルチャーに触れる
タンザワ楽器 沼津本店 / ハイクリエイト /
マルサンホビー / TRICK'S
- 13 地域CREATORのまちなかの触
- 14 編集後記

NUMAZU CENTRAL MAP

沼津駅を中心に南と北、それぞれのエリアを感じる今回のテーマは『触』。触を感じてまちを歩けば、個性的な個店が醸し出すまちの濃淡に気づくかも!?

SECESSION P07

沼津駅

マルサン書店
仲見世店 P05タンザワ楽器
沼津本店 P11

ハイクリエイト P11

Relaxation salon
citta P09

正秀刃物店 P08

COLORIDO P10

TRICK'S P12

マルサンホビー P12



日々の手触り、 その魅力



特集

触り心地のよい個店で まちの深みを感じる

ずっと触っていたくなる触り心地のよいもの、
つい触ってみたくなる特徴ある手触りや肌触りの
もの。ふわふわ、つるつる、ざらざら、すべすべ、
ぬめぬめ……。日常的に触っているものだと気にも
とまらないものですが、この触り心地に注目して
まちやお店を見渡してみると、その商品の作り手や
お店の思いなど、なるほど、という『触』の理由が
あつたります。

例えば、まちの本屋さん。本にも様々な紙が使わ
れていますが、その手触りにはどんな印象があるで
しょうか。ブックカバーの手触り、ページをめくる
時の感触、本そのものから受ける心地も、デジタル
では受け取ることができない、本の魅力のひとつ
です。数多ある本のセレクトにも、本屋さんの想い
が詰まっていたりするので。『触』からはじまる
お店やまちの奥深さ、今だからもっと知りたいと
思いませんか？

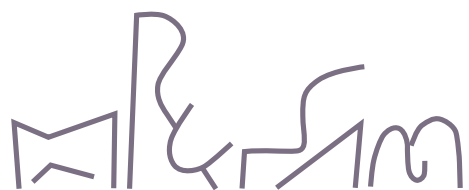


ロングセラー『推し、燃ゆ』裏話

最近のロングセラーは芥川賞受賞作の『推し、燃ゆ』。著者の宇佐見りんさんが沼津と縁があることをどこよりも早く、マルサン書店仲見世店が紹介。実は市内在住の宇佐見りんさんの祖母から直接聞いたそう。著者の家族が本屋に問い合わせたり、情報をくれることは“本屋あるある”だとか。

ブックカバーのデザインは？

マルサン書店のブックカバー(左)と2021年版手帳(右)。1955年に版画家の山口源さんがデザインしたもので、MARUSANの文字が隠れているのがわかるだろう。手帳は一冊110円で販売。2022年版は12月上旬に販売予定。



マルサン書店仲見世店

静岡県沼津市大手町5-3-13
TEL 055-963-0350
営業時間 10:00~19:00(水・日・祝は18:00まで) 定休日:1月1日
<http://marusanshoten.co.jp/web/>

新しい世界に触れる場所 沼津の“まちの本屋”としてあり続ける



表紙の質感、重量感、紙のザラつき…紙の本には手から伝わる味わいがあり、さらにページをめくれば、そこに未知の物語が広がっている。

マルサン書店仲見世店は、今年6月にリニューアルし、児童書や絵本もワンフロアに集約した。特別な本屋ではなく、これからも「まちの本屋」として開かれたフラットな存在であり続けたいと店長の増田淳さんは話す。

しかし、増田さんが入社した20年前と今では大きく環境が変わっている。今はSNSを通じて、突然、一気に情報が拡散するので、お客さまのニーズに応えることは難しい。それでも、マルサン書店は新しい世界に触れるきっかけづくりを大切にしている。たとえば、夏には「沼津東高校推薦図書」として不朽の名作から驚きの最新作まで、先生が選んだ文庫本にお手製の帯を巻いて販売している。また、レジ横には少レクセのある教養本が並んでいるが、これは長年続くマルサン書店のルールでもある。フェアの選書も選者の個性が見え隠れしている。それについてたずねると「みんな少し天邪鬼あまのじゃくなのが社風でしょうか」と増田さんは笑う。

商品については店員が一番くわしいものだが、本屋は特殊な場所で店員よりもお客さんの方がくわしいことが多い。だからこそ、お客さんとのコミュニケーションは大切に、新しい情報はいつもお客さんから届くそう。大手書店やネットショップは数字とデータをもとにできているが、まちの本屋は地域の人たちとの触れ合いでつくられている。



触れるだけで切れる。 ムダな力はいらぬ。

大正15年創業の正秀刃物店には包丁や
鋏、ナイフ、農具など、常時数百点の刃物
類を中心に豊富な品物が並ぶ。港町沼津なら
ではの商品といえば「ひらき包丁」。特産品の
アジを開くの最適な長さで幅でデザインされ
ている。

「お店でいちばん切れる」包丁で店主の大野
さんがチラシを切ってくれた。シュツとい
うかすかな音を立て紙は2枚に分かれた。ほん
とくに切れる包丁は、無駄な力を入れなくて
いいから逆に危なくないという。

結婚や新築のお祝いに正秀刃物店であつら
えた名入れ包丁を贈る人も多い。適切に手入れ
をして大切に扱えば、1本の包丁が10年もつ。



正秀刃物店では自他社製を問わず、
研ぎの依頼を受けている。研ぎ機
で荒研ぎ↓中研ぎをし、最後は手
作業で仕上げ研ぎをして持ち主に
もどす。何年も繰り返し返されてきた
正確な作業の美しさに、目を奪わ
れる。



正秀刃物店

静岡県沼津市沼津市町方町107
TEL 055-962-2810
営業時間 10:00~18:00 定休日:水曜



上質な肌触りをまとう

「上質な日常着」をテーマに、おうちで洗
える服を中心にセレクトされたハイセンスな商
品が揃うSECESSION(セセシオン)。
都内でアパレル業に携わっていた野田さん
ご夫妻が、沼津に移住して店を開いたのは2
009年。以来一貫して着ごちのよい服を
提案し続けている。

セセシオンではまた、オーダーシャツの
注文も受けている。リネンやコットンなど約
100種類から、いちばん好きな触り心地の
布を選び、同じく種類豊富なボタンと合わせ
る。採寸から完成までは約3ヶ月。仕上がり
を待つ時間すらたのしい。

野田さんは言う。「この店が街の選択肢のひ
とつであればいいと思っています。ここじゃ
なきゃだめ、というほどには強くなくていい
です。」姿勢はどこまでも謙虚だ。



SECESSION

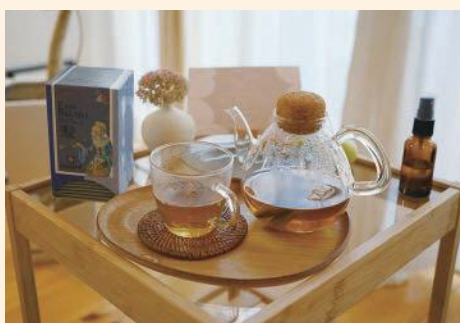
静岡県沼津市新宿町16-4-1F
TEL 055-928-7556
営業時間 10:00~19:00 定休日:木曜



これまで約4万人を癒してきたセラピストの森日鶴さん。「どんな場所でも揉みほぐしたい」と、音楽フェスやイベントにも出店。施術はもちろん、やさしい声とほがらかな雰囲気癒される。

触れることで肌と会話する

外の世界と内臓との境界線でもある皮膚は、私たちが思うよりもたくさんを感じている。でも、自分の身体って意外とわからないもの…そんな無自覚な身体の状態を伝え、癒してくれる場所がリラクゼーションサロンcittaだ。ここは、セラピストの森日鶴さんがアロマとハーブを学び、2016年にオープンしたプライベートサロンで、「肌に触れることは、お客さまの内面に触れること」と森さんが言うように、施術の時は肌に触れる瞬間を大切に、身体と会話するように触れていく。そうすることで身体の張りや呼吸、筋肉の変化から身体の状態が手に取るようにわかるようだ。コースは、アロマトリートメントやマタニティトリートメント、慢性的な痛みやストレスを抱えている方を触れることで癒すTOUCHなどがある。お客さまの一言から生まれたサロンのコンセプト「心までほぐれる…」をぜひ体験してほしい。





天然石のぬくもりと手触りが気持ちいい

BODYやアロマトリートメントのコースでは天然石を使う。あたためて使う玄武岩(左右)と夏に冷やして使う翡翠(中央)。どちらも身体に沿わせたり、身体の上に置いて熱を伝える。お客さんの凝りや冷えの状態によって使う石の種類や数を変えている。



Relaxation salon citta

静岡県沼津市大手町4-3-24
営業時間 10:00~19:00 ※要予約。予約はwebからできます。
定休日:不定休
<https://citta.amebaownd.com/>  




触れ合う手から相手を理解する

ダンススクールCOLORIDOでは、サルサダンスを中心にペアダンスの魅力を伝えている。サルサダンスという男女が妖艶に激しく踊るイメージがあるが、ここで教えているのはショーとしてのダンスではなく、自分たちが踊って楽しむ大衆的でカジュアルなサルサダンスだ。一曲3分~5分程度、リズムに合わせて歩くようにステップを踏むとほどよい運動になる。即興で踊るのでリードをする男性は体も頭も使う。逆に女性は男性を信頼して、体をゆだねることが大切になる。それが空気を読む日本人にとっては難しいらしい。スクールに通う人は20代から60代と幅広く、ダンス未経験者がほとんど。陽気なラテンのリズムに合わせてみんなで楽しく踊っている。



COLORIDO代表でインストラクターのNanaさんは、沼津にサルサダンスを根付かせたいと2019年にダンススタジオEL PASITOをオープンし、現在はアメリカからオンラインレッスンを行なっている。ペアダンスの魅力について「言葉を交わさず、触れている手を通して会話できるので、年齢性別国籍関係なくダンスを通じて仲良くなれます。現代社会に不足しがちなスキンシップを補うこともでき、サルサを踊ることで癒されます」と話す。

COLORIDO

静岡県沼津市大手町4-6-2 2F (ダンススタジオ EL PASITO)
TEL 080-5137-7756
※レッスン・イベントに合わせてオープン。詳しくは「沼津 サルサ」で検索。
<http://coloridodance.com/> 



肌が触れ合う心地よさ

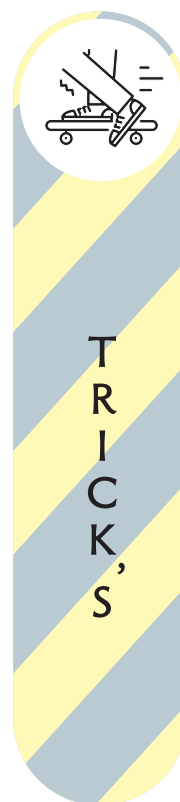
肌が触れ合うことで伝わる情報はたくさんあります。それは感触やぬくもりだけでなく、時にコミュニケーションになることも。「触れる」ことで、あなたの知らない自分をみつけるきっかけにもなるようです。



痒い所に手が届く品揃えが自慢！ じっくり作る楽しさを味わおう！

老舗の模型専門店「マルサンホビー」。工具・着色・接着剤不要の初心者向け商品から人気のプラモデル、製作に高い技術を要する帆船、建築模型まで豊富な品揃えが魅力。「完成まで楽しく作っていただくのが一番」と、代表の斎藤裕(ひろし)さん。これから始める方は、プラモデルやラジコンなど、興味のあることをまずスタッフに伝えよう。その中でも比較的作りやすいものをピックアップしてくれる他、製作に必要な道具や技術的なアドバイスなど、サポートも安心。お店のYouTubeチャンネルは、更新頻度が高く、これにも注目したい。

静岡県沼津市上土町66 TEL 055-962-5048
営業時間 10:00～21:00 定休日：第3木曜日(不定休)
<https://www.marusan-hobby.jp/>
マルサンホビーのYouTubeチャンネルは「hs 46jp」で検索



(始めるなら)まずは、 自分に合ったスケートボードに出会おう。

静岡県東部のスケートシーンを支えるスケートボードショップ「TRICK'S」。スケートを始めるには、自分に合ったデッキを手に入れることが第一歩。様々なパーツを揃え、その品質や特徴を把握し、お客様と相談を重ね、丁寧に1台のスケートボードを作り上げていく、頼れる専門店だ。普段のお手入れ方法の紹介や修理調整対応まで手厚いサポートも欠かせない。また、「ギャラリースペース」機能も兼ね備える店内。スケーター×アートワーク。ストリートカルチャーを気軽に楽しめる展示だけでも足を運んでみては。

※展示内容・スケジュールは、Instagramを参照

静岡県沼津市通横町18 TEL 055-951-8108
営業時間 12:00～22:00 ※早仕舞いする場合もあり 定休日：水曜
<http://tricks-sk8.com/>



お客様とのふれあいを大切にする アットホームな店

1919年創業の老舗「タンザワ楽器 沼津本店」。楽器の販売、オリジナルレッスンの他、楽器の修理、調律などアフターメンテナンスまで、信頼のおける技術者がお客様をサポート。家で過ごす時間が増えた昨今、新たな趣味にチャレンジする人は多く、「音楽・楽器」への注目は増すばかり。音楽を自分の趣味にしたい。久しぶりにあの楽器で演奏したい。そんな声に応えるため、オリジナルレッスンの見学、持ち込み楽器のメンテナンスとお手入れ方法のレクチャーなどあらゆる面で心強い味方に。お店に行く際は、事前に連絡を。

静岡県沼津市大手町4-7-8 TEL 055-962-1111
営業時間 10:00～18:30 定休日：水曜
https://www.tanzawagakki.com/shop_classroom/numazuhonten/
LINE公式アカウント「420fvfte」でID検索



Enjoy Art! 頼れる、まちのアートショップ

画材・額縁などを総合的に扱うアートショップ「ハイクリエイト」。8月に閉館した「イシバシプラザ」から、沼津仲見世商店街に9月移転オープン。静岡県東部・伊豆エリアでアートカルチャーを楽しむ多くの人たちが利用することから、交通の便が良く、学生のお客様の来店しやすさを考慮して移転先を決めた。人気商品は、アルコールマーカー「コピック」。中でも「コピックスケッチ」においては全358色を販売、インクからニブ(ペン先)まで扱う品揃えがお店のアピールポイントの1つだ。額縁については、自分の作品をお店に持ち込んで相談しよう。

静岡県沼津市大手町5-7-5 つるかめ仲見世ビル1F TEL 055-957-8620
営業時間 平日10:00～18:45 水・土・日・祝 10:00～18:00 定休日：なし

編集後記



「五感で感じる」というテーマではじまった、まちなか商業の魅力発見BOOK、第4号は、「触」にフォーカスしました。それぞれの個店で出会う触感に、いつもとは違うお店の魅力に気付くきっかけになれば幸いです。さて、触れることで物体の形などを認識する「触覚」は、皮膚から受ける圧力の変化に対して応答する細胞が主たるものとして考えられているそうです。圧力の変化には、時間の差はあるものの身体が順応していくようで、この「触」という感覚は、慣れてしまふとその価値に気付きにくくなる魅力要素なのかもしれません。今だからこそ、触れることにあたかさを感じたり、新鮮な気持ちになったり、今まで見過ごしていたことに気付く良いタイミングかもしれませんね！さあ、五感を研ぎ澄まして、まちを歩いてみよう。

NUMAZU まちの感触 vol.4

2021年10月29日発行

発行 沼津市商工振興課

〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16-1

制作進行

アートディレクション・デザイン

撮影 (表紙・P3~P6・P8~P9・P14)

イラスト

取材・執筆

(P11~P12)

(P7~P8)

(P5~P6・P9~P10)

増田陽一 (SBSプロモーション沼津支社)

大木真実 (NUMAZU DESIGN CENTER)

梁充克 (minori photo works)

大嶽りや (Lib.)

増田都佳佐

宮代博美

森岡まこば

本誌制作 地域CREATOR のまちなかの触



通りすがりに上質な「アートに触れる」ことができる、ぬましんストリートギャラリーさんはいつも楽しみに鑑賞させていただいています。キュレーションもこだわりを感じられて、いつでも気軽に質の高いアート作品に触れることができる沼津のまちなか、いいですね。

大木真実



子供の時に初めて連れて行ってもらった、添地にあったお寿司屋さん。カウンターに立つ優しい大将の後ろには、小さな日本画や季節の植物がいつも小粋に飾ってありました。お寿司を食べることよりも、お店の雰囲気に触れられることが、子供の私にはとても嬉しかったです。

大嶽りや



お店を利用しやすいように、商品を長くお使いいただけるように、取材でお邪魔したどのお店もお客様のことを一番に考えてご商売をされていました。思いやりの心に触れ、取材を通じて私自身、学ぶことがたくさんあります。沼津って、あったかい。

増田都佳佐



自転車に乗って沼津まちなか散策。旧東海道川廓(かわぐるわ)通りは、石畳ならではの心地よい揺れと狩野川沿い歴史ある街並みを、晴れた日にゆっくりとサイクリング。(短い距離ですが)沼津の歴史文化に触れることができます。オススメ!

増田陽一



ストリートカルチャーに触れるといえば、以前息子へのプレゼントにTRICK'Sでスケボーを買ったのですが、本人が全然練習をしません。地元の推し店舗でステッカーをもらった時だけ、ボードをひっぱり出してきて嬉しそうに貼ります。そんなことなら私が代わりに乗ろうかな。

宮代博美



今回、大好きなマルサン書店取材ができました！市内にはweekend booksと書肆ハニカム堂という素敵な古書店がありますね。古本の場合、本に触れていると知らない誰かの存在を感じますし、なんだかバトンを渡された気持ちになります。

森岡まこば



宮町の狩野川堤防沿いの道に、お庭からニョッキと道路側に素敵な枝が伸びていて、車でその下を通るときにサラッと触る感じが気持ちよくて好きです。通横町交差点の欄干の上にいる黒猫の銅像もよくナデナデします。

梁充克